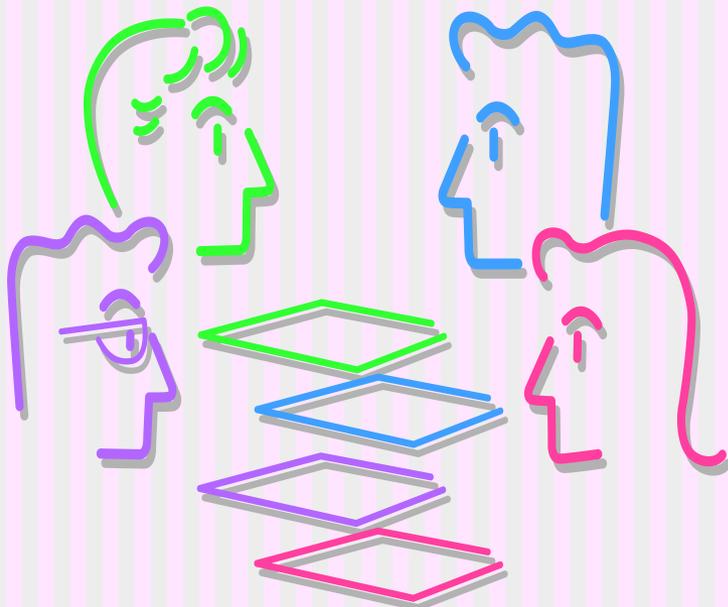


# LET英語の発音部会 第39回研究部会

## 英語絵本読み聞かせ練習

### —成人学習者のケース

---



神戸学院大学  
中西 のりこ

# 私の経歴

---

1992年頃- 幼児、児童対象の英語教室

2000年頃- 親子英語教室

2008-2009年 絵本講師・養成講座  
(NPO法人「絵本で子育て」センター主催)

2009年- 神戸市外大院 英語教育学専攻  
児童英語教育コース 在籍

# 背景1 (なぜ成人学習者?)

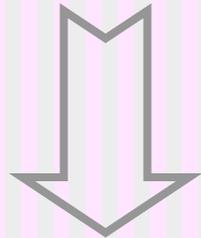
- Inner circle ... 母語としての英語
- Outer circle ... 第二言語としての英語
- **Expanding circle** ... 外国語としての英語  
(Kachru 1992)

- 教室外でのInput, Outputの機会が少ない。  
⇒ 家庭でも英語を使うきっかけを児童に与えたい。
- モデルとなる英語を特定できない。  
⇒ 母語話者のような英語でなくてもよいのでは？  
∴ 「保護者にも、活動に関わってもらおう！」

# 先行研究

---

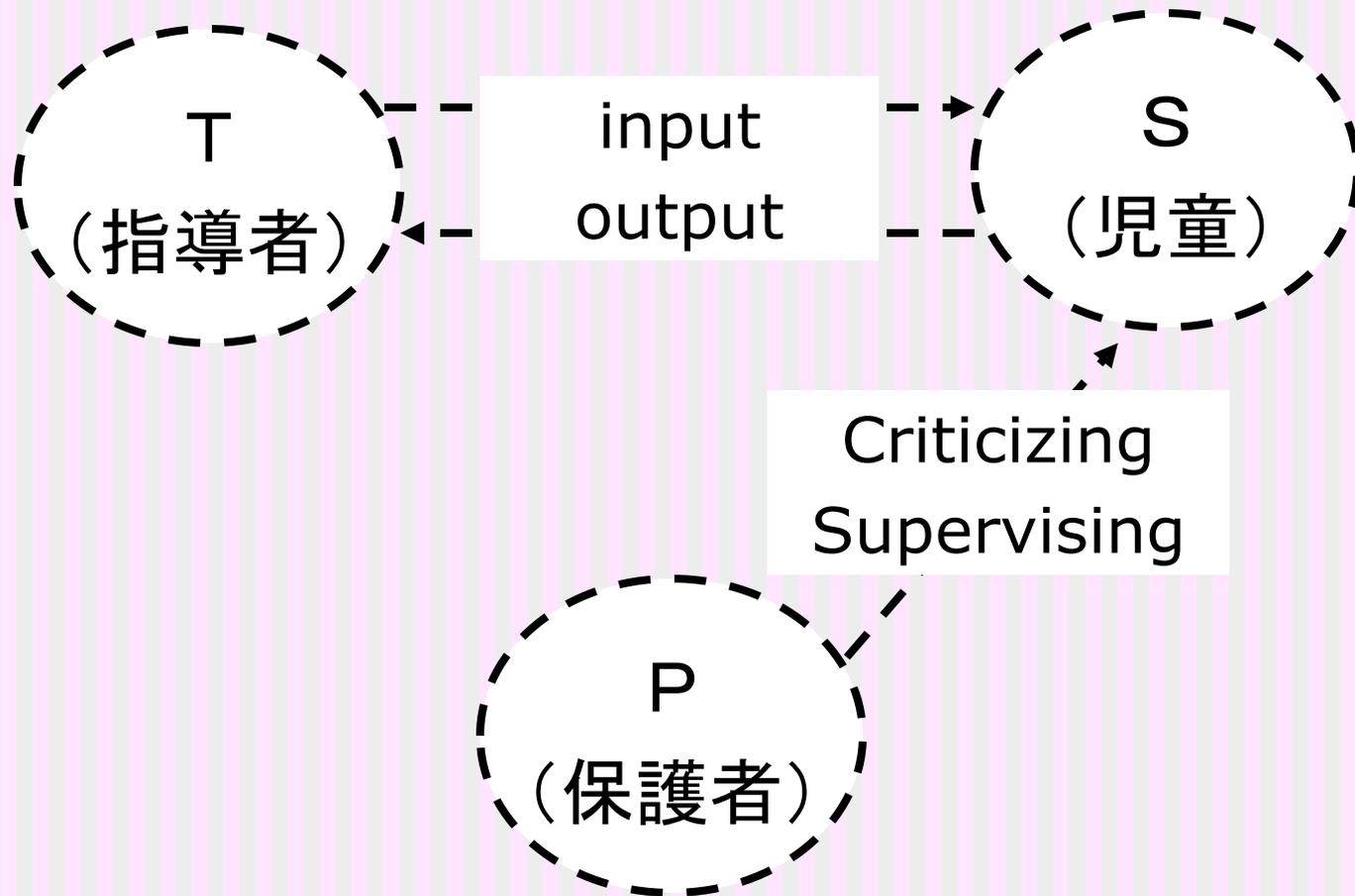
- Team learning (Tajino & Tajino, 2000.)  
「JTE, ALT, 生徒のチーム再編」



- 絵本読み聞かせ  
「指導者, 保護者, 児童のチーム再編」

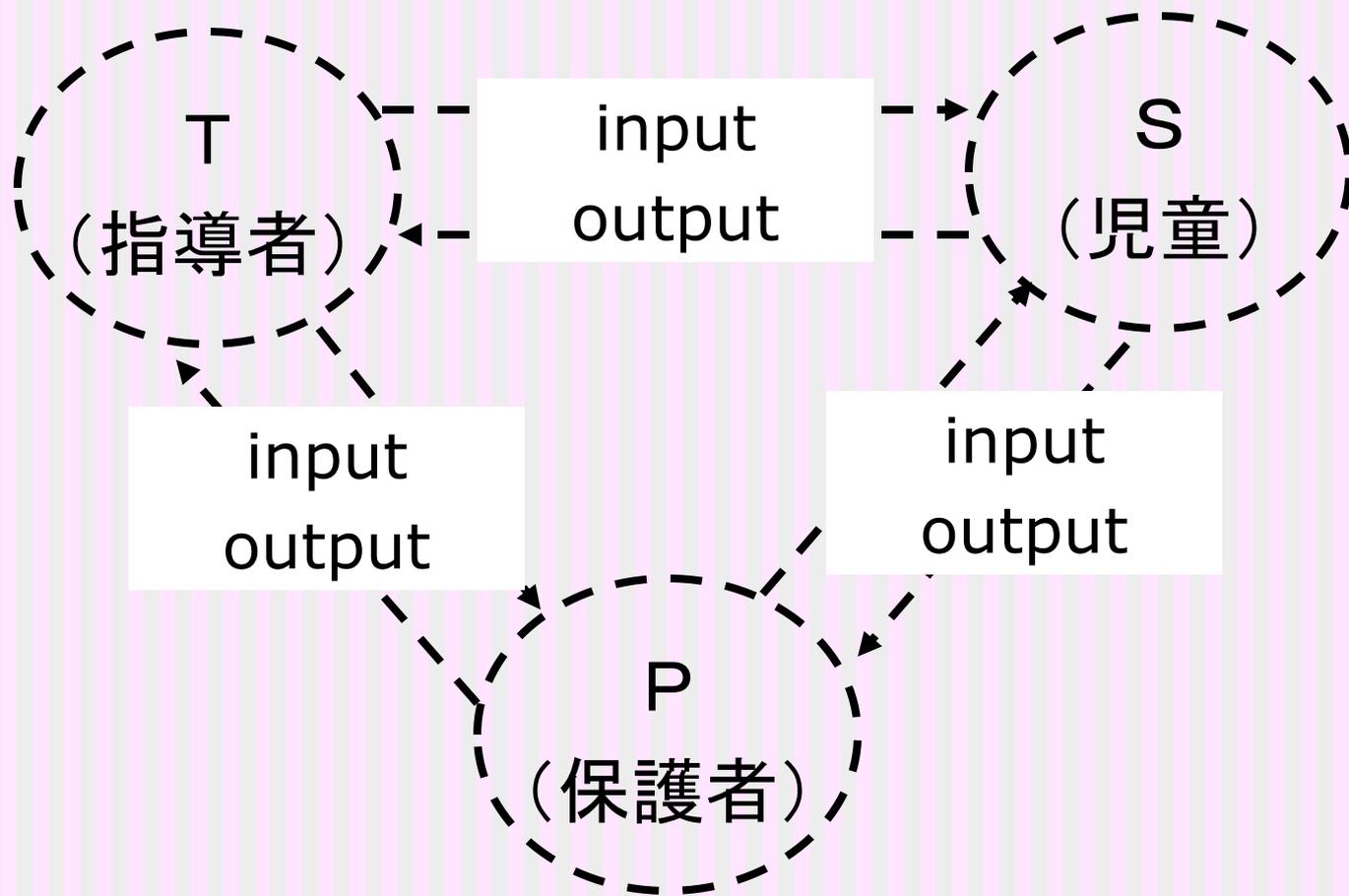
# 保護者の役割(1)

＜実践前＞子どもを監視する保護者



# 保護者の役割(2)

＜実践後＞「学習者のモデル」としての保護者



## 背景2(なぜ英語絵本?)

- 親子で英会話
  - ...日常生活とのギャップ。
  - ...モデルセンテンスをただ読む練習になりがち。
- 親子で宿題
  - ...保護者がナーバスになりがち。
  - ...保護者は「子どもを見張る」立場になりがち。

∴英語絵本の読み聞かせなら、

日常生活の中で取り入れても不自然でない活動

保護者にとってもchallengingな活動

ができるので

は？

# そこで

家庭での英語絵本読み聞かせを実践。

希望する保護者には月2回「読み聞かせ教室」

- 表現—「この時の話者の気持ちは？」
- リズム—1語ずつ文字をたどるのではなく。
- 発音—「子供にも教えてもらってください」
- 発展—情景をイメージして読む。

# 読み聞かせの注意点

## 絵本講師・養成講座で学んだこと:

作品自体が持つ力、子どもの想像力を尊重する。

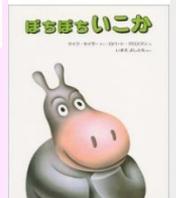
- オーバーな声色やジェスチャーはいらない。
- 解説をしない、感想を聞かない。
- 美しいことばを伝えましょう。

代田知子『読み聞かせわくわくハンドブック』一声社、2001年  
松岡享子『えほんのせかい こどものせかい』日本エディター  
スクール出版部、1987年

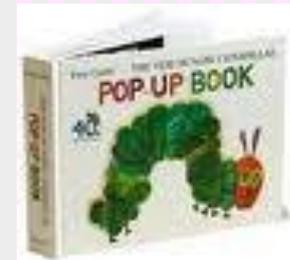
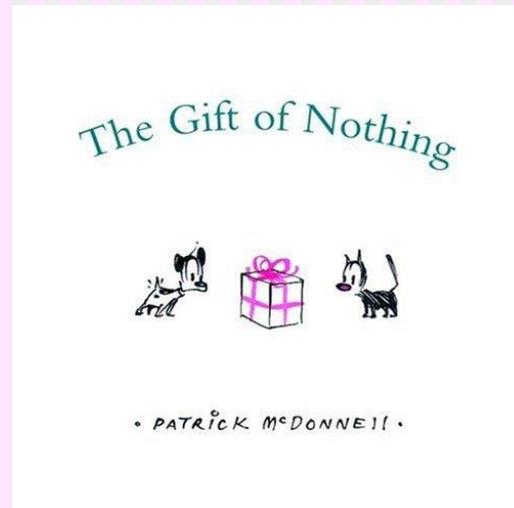
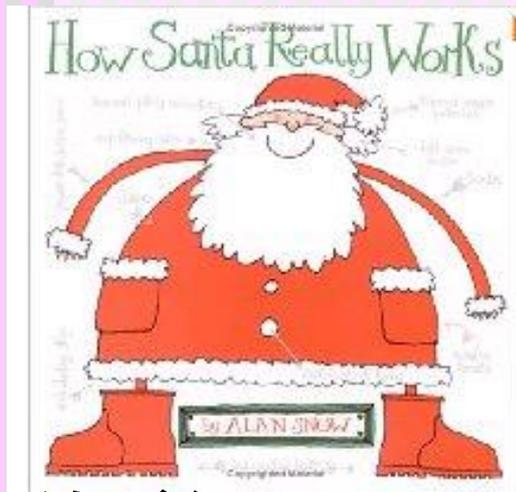
# 読み聞かせの注意点

## 英語絵本の場合：

- オーバーな声色やジェスチャーはいらない。  
⇒ 自然なリズム、イントネーションに注目しよう。
- 解説をしない、感想を聞かない。  
⇒ 和訳をはさまない、日本語で理解確認しない。
- 美しいことばを伝えましょう。  
⇒ お母さんの声、努力、温かさを伝えよう。



# ご注意。



絵が細かい。「生」の絵本の良さ。  
色、手触り、配置

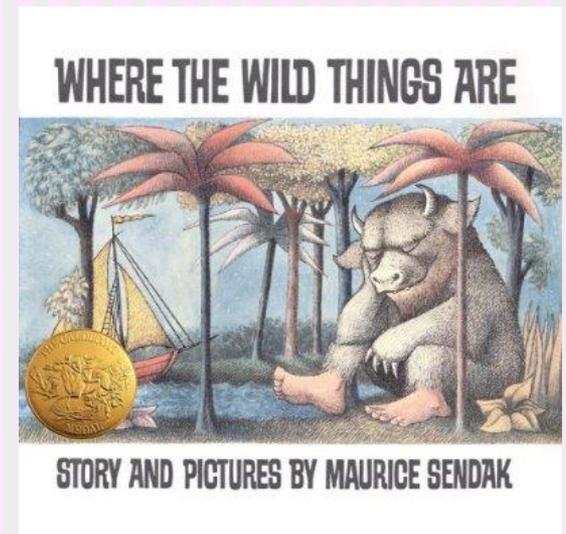
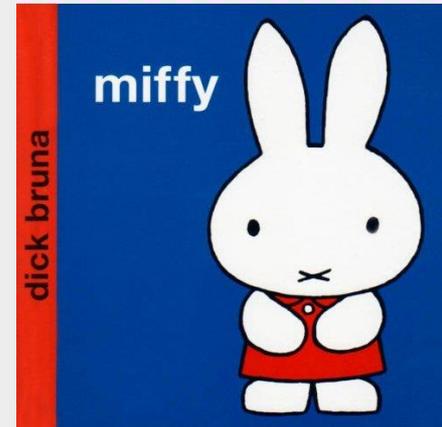
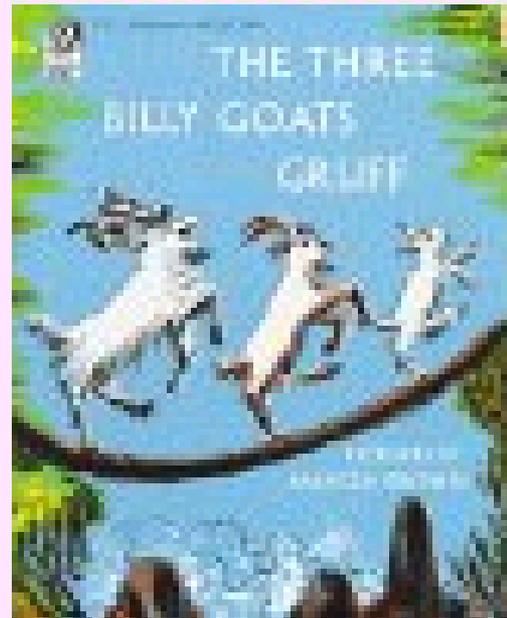
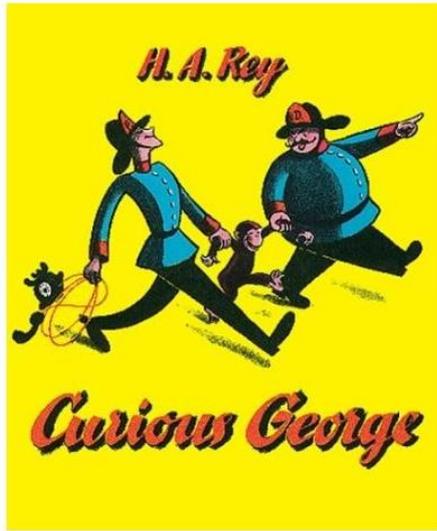
しかけに  
気をとられがち

絵を味わう⇒文を味わう⇒音を味わう

# 英語絵本読み聞かせの利点

- 絵、話の流れからことばを推測しやすい。
- 教室内では体験できない世界(非現実性、習慣、文化)
- **すでに知っている作品を原書で読める。**
- **読み手と聞き手の双方向性。**
- **繰り返しが不自然にならない。**
- **ことばのリズムを味わうことができる。**
- **発音、綴り字、語彙、文法 材料の宝庫。**
- **年齢を超えて楽しむことができる。**

# 1. すでに知っている作品



## 2. 読み手と聞き手の双方向性

- CD教材にはない、「生の声」の温かさ。

Ex) 鴻巣彩子監 『CDで楽しむ えいごよみきかせ絵本』

- スピードやトーンを聞き手に合わせられる。

Ex) Disney *Winnie the Pooh and Tigger too.*

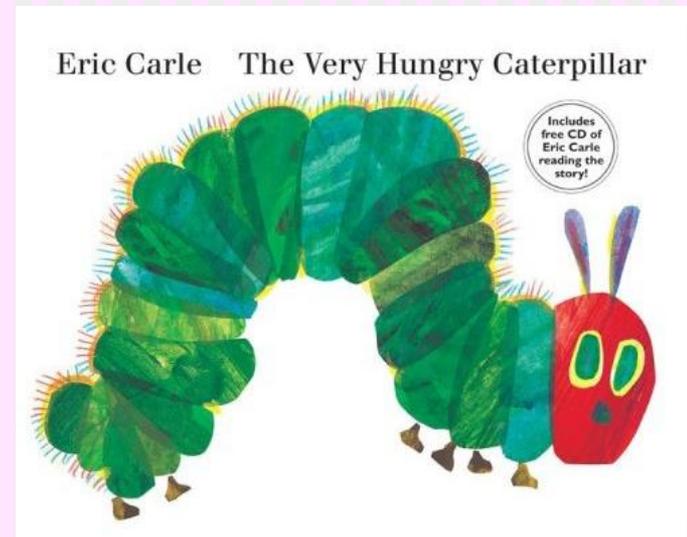
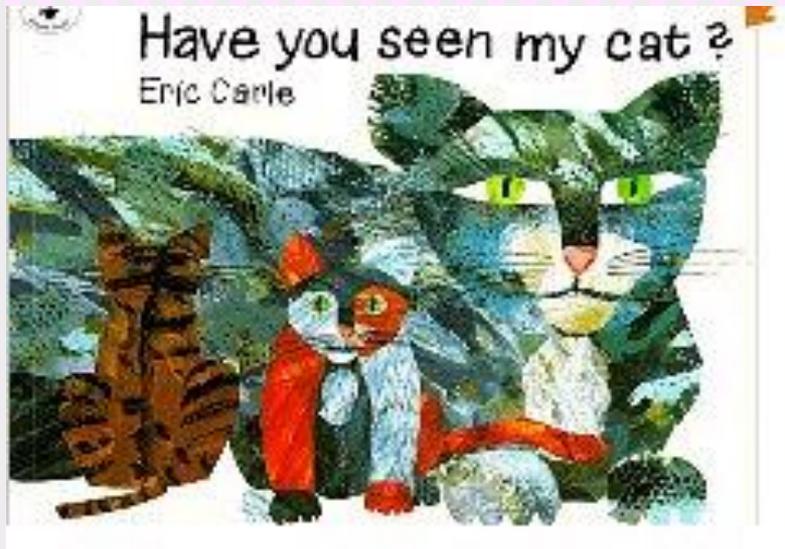
- 「学習者のモデル」としての読み手。

英語が得意でない読み手が努力している姿。

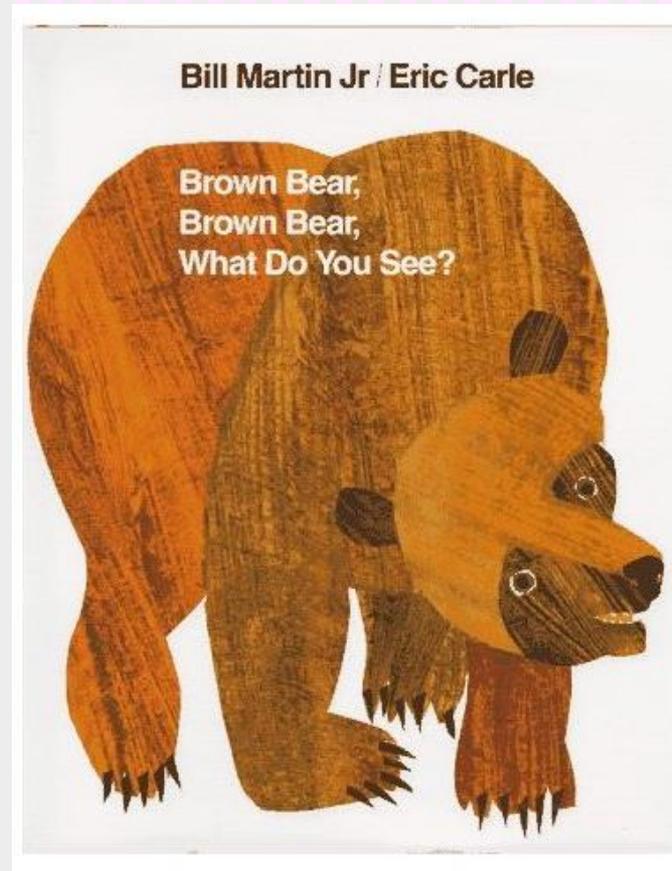
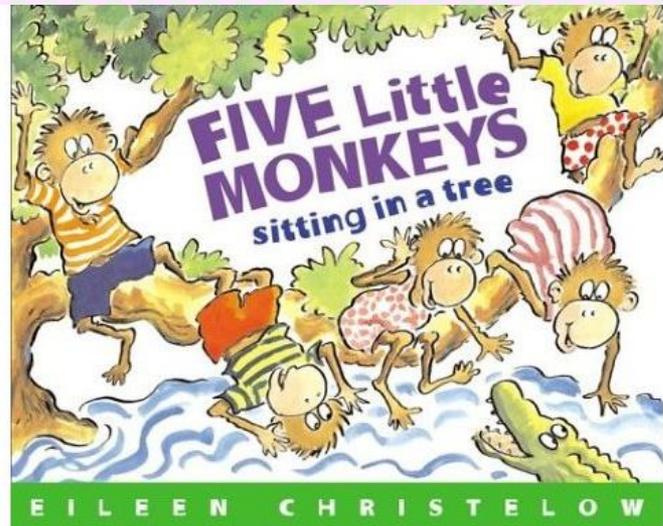
文字が読めない子どもの気持ちを理解する。

### 3. 繰り返し

- 絵本は、繰り返し読むもの。
- 絵本自体に繰り返しが多い。

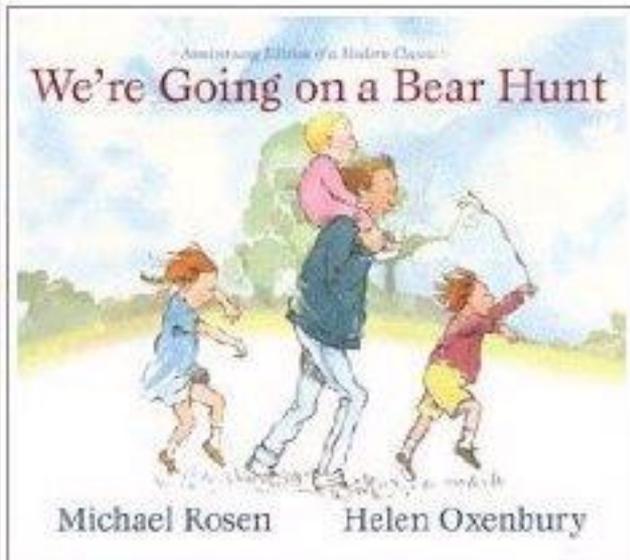


## 4. ことばのリズム

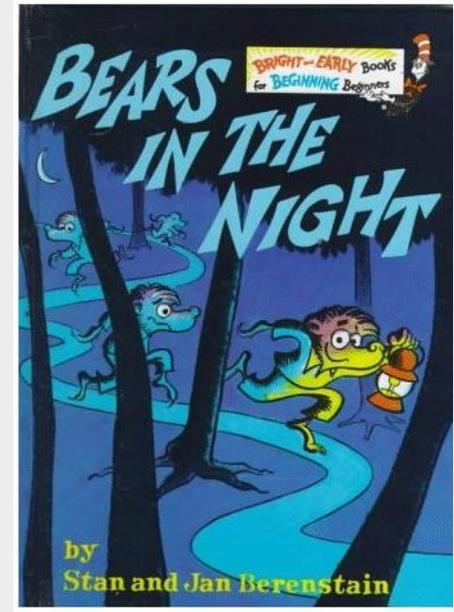


# 5. 語彙、文法

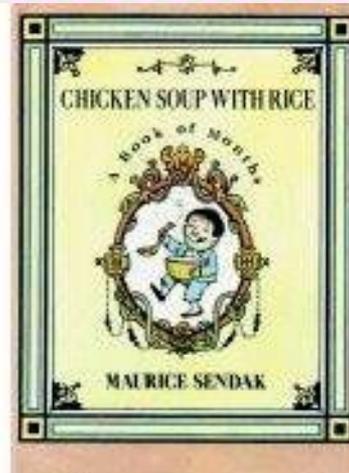
- オノマトペ



- 前置詞

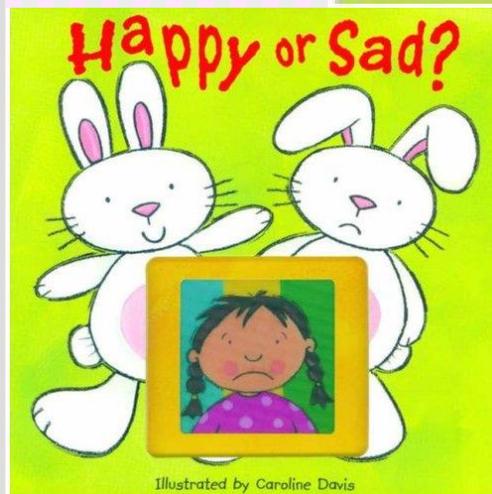
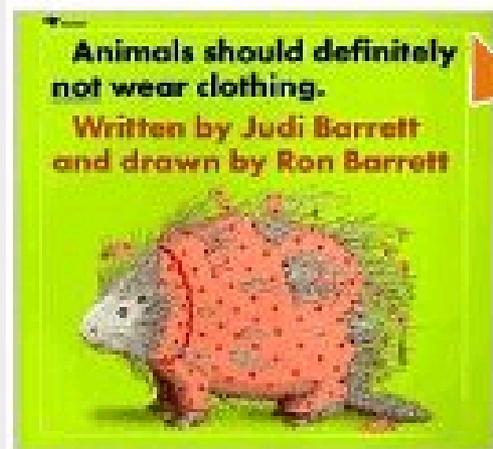


- 月の名前

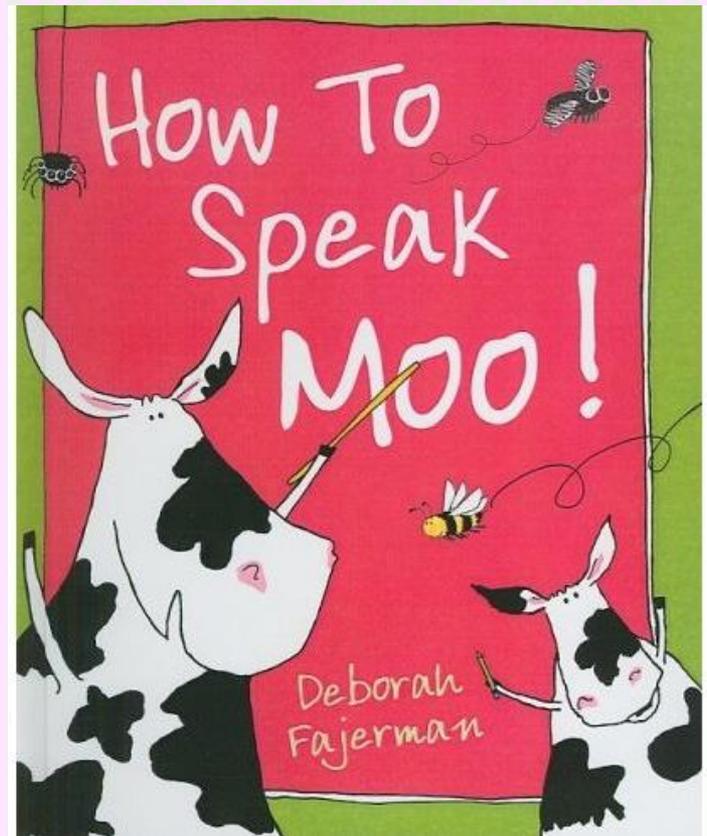


# 6. 発音

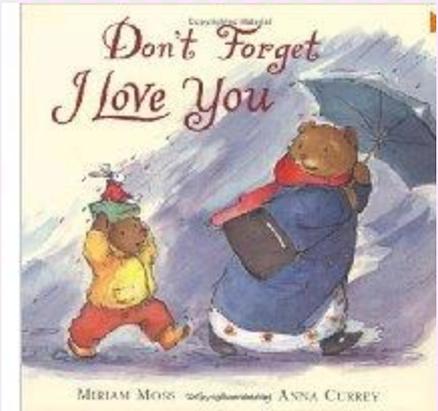
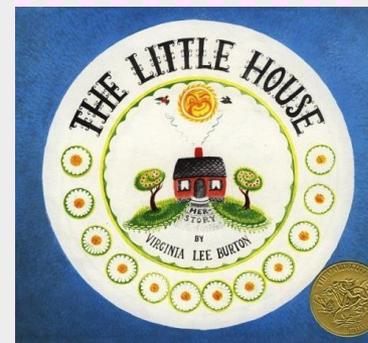
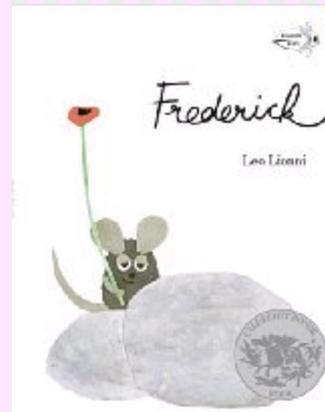
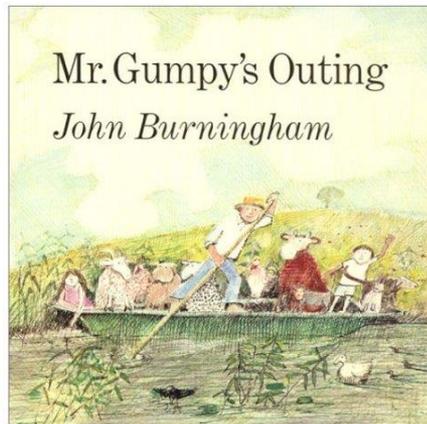
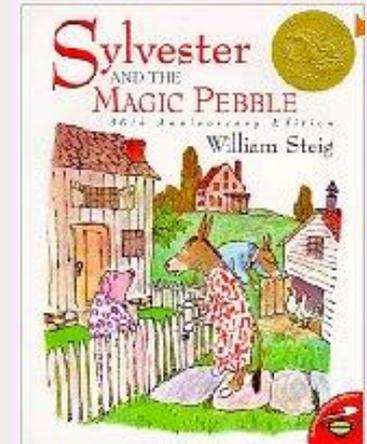
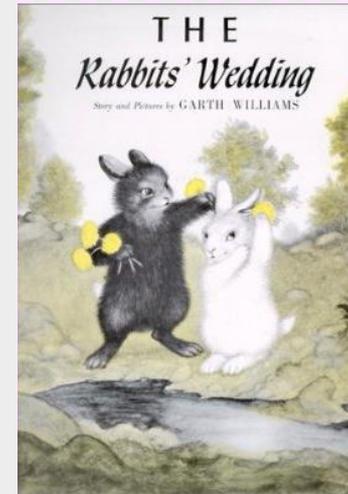
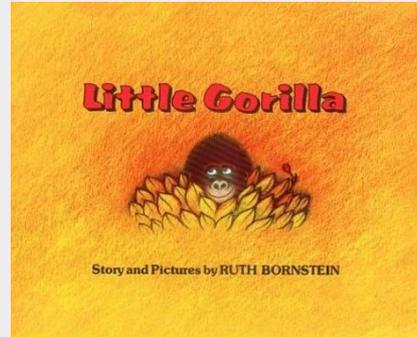
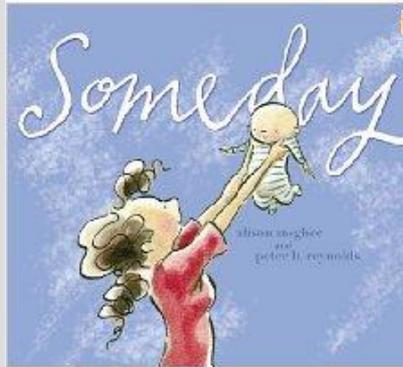
- イントネーション



- トーン、表現



# 7. 年齢を超えて(大人も子どもも)



# 「読み聞かせ教室」で困ったこと

- 文字を追うので精一杯。
- 棒読み
- Segmental な問題(ex) sea/she
- 全ての語にアクセント。
- 照れて笑いが止まらなくなる。

# 「読み聞かせ教室」の様子

# 保護者の反応（問題点）

- 家庭で読み聞かせをする時間の余裕がない。
- （親が読み聞かせをすることで）変な発音を子どもが覚えなにか心配。
- 母親の英語発音をばかにしたような態度をとる子どもがいる。

# 保護者の反応(効果)

---

- 子ども達が英語に接する機会が増えた。
- 保護者が「学習者の目線」に立ち返ることができた。
- 親子のふれあいの時間が増えた。

# 「学習者のモデル」大人の力

神戸市内 小学6年生 外国語活動に  
イングリッシュサポーターとして参加していて  
感じること。

# 討論

- 発音指導で困っていること、うまくいった方法
- 絵本を使った指導
- 成人学習者が抱える問題、良い点
- その他

について、ご意見をお聞かせください。